

# 高崎市地域福祉通信

第 12 号

平成20年12月12日発行

## **策定委員会で「地域福祉計画・活動計画素案」が承認されました**

第3回策定委員会で地域福祉計画・地域福祉活動計画素案が承認され、策定委員会で予定していた業務は全て終了いたしました。

### **第6回座長・副座長会議の内容**

第6回座長・副座長会議は、11月17日（月）午後6時30分から市役所2階21会議室において開催され、6人の座長・副座長さんにご出席いただきました。

当日は、地域福祉市民会議で作成した計画素案の最終調整を行った後、11月25日に開催される第3回策定委員会の打合せを行いました。



（第6回座長・副座長会議の様子）

### **第3回策定委員会の内容**

第3回策定委員会は、11月25日（火）午前10時から市役所31会議室において開催され、14人の策定委員にご出席いただきました。

今回の会議では、11月17日の座長・副座長会議で最終調整を行った計画素案について、事務局が説明を行いました。その際、市民会議委員に総括コメントをいただきました。その後、委員全体で審議を行い、計画素案が承認されました。

閉会にあたり、大宮会長から「地域社会の信頼ネットワークづくりをしっかりと行う必要がある。計画の具現化にあたっては、一つひとつできることから行っていくことが大事である。」とあいさつをいただきました。

次に、松本副会長から「計画の周知が重要である。また、関係団体に広く働きかけをして、福祉関係の研修をしていただきたい。」とあいさつをいただきました。



（第3回策定委員会の様子）

### **今後の予定**

平成21年1月5日から2月4日にかけて、パブリックコメントの実施が予定されています。

パブリックコメントで市民の意見や提案を幅広く求めた上で、今年度中に地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定します。

## ※ 市民会議委員の総括コメント（第3回策定委員会）

- ・ 地域福祉を推進するための仕組み（チェック機能等）についても、考えてもらいたい。
- ・ 小さい単位（地域）で独自の活動を展開することや、リーダーを発掘・育成し、支えるための組織作りを行う必要がある。
- ・ 支えあいマップの作成等を通じて、住民が情報を共有することも必要ではないか。
- ・ 地域の特性・個性にまで踏み込まないと、解決できない問題がある。
- ・ 私たちが実際に体験していないと、いざという時に行動できないので、非常時でも行動に移せるような仕掛けを作れたらいいと思う。
- ・ きれいな心を育てていくためには、やはり2歳児・3歳児からの子育てが非常に重要ではないか。
- ・ きれいな心分科会では、感謝の心や人を許せる心を、子どもたちに伝えていきたい。
- ・ 地域福祉計画・地域福祉活動計画の取り組みを継続して、「高崎市が変わったな」と市民が感じられるようになればよいのではないか。